

「安心・安全を守り」

辻元国交副大臣ら所信

も官務政

覚悟を決めてどこに配分していか一緒に考えていきたい。安心・安全を守っていく」と協力を求めた。

国土交通省の馬淵澄夫、辻元清美の両副大臣、長安豊、三日月大造、藤本祐司の3大臣政務官は24日、同省大会議室でそろって職員向けに就任あいさつを行った。

野担当の辻元副大臣は「交通は福祉と環境の産業だと思っている。公共交通があるからこそ車を運転できない人でも移動ができる。今後も公共交通にかかっている。観光は内需拡大のエンジンだ。『ヒューマン・二輪』を。財政に優先順位を付け、また『経済は厳しく、人々の暮らしを支えたい。『守る力』と『変える勇気』を。財政に優先順位を付け、

安全・危機管理・交通分

国土・社会資本整備担当の馬淵副大臣は「高度経済成長期の国家繁栄の象徴は新幹線と高速道路・自動車だった。低成長・少子化時代の国づくりが求められている。地域や生活を維持する分野を新たな社会資本の対象として取り組んでいきたい」などと述べた。

あいさつする辻元国交副大臣（写真上）、三日月大臣政務官（同下）



交通問題を担う三日月政務官は「日ごろ皆さんの奮闘ぶりを見ている。現場重視の国交行政をつくってきたい。歴史的転換点に財政の悪化、人口減少、景気低迷といった背景を自覚しながら将来には夢を持って臨んでほしい」とした。